

平山耕三市長は、6月12日開会の第403回市議会定例会で各議案の提案説明に先立ち、「4月27日、10年半ぶりとなります南北首脳会談が行われました。南北首脳会談では朝鮮半島の完全な非核化のために積極的に努力するなどの内容を明記した「板門店(バンムンジョム)宣言」が発表されましたが、着実に実行され、平和的に解決されることを期待するものであります。

総務省が4月に公表した、昨年10月1日時点の人口推計では、外国人を含む総人口は1億2,670万6千人で、7年連続の人口減少となりました。40道府県において人口減少となり、7都県で増加となっています。増加率は東京都が最高で、東京一極集中が続いています。一方で、高知県の推計人口は、4月1日時点で70万8,182人となり、戦前の昭和15年の人口を下回りました。

4月から高知市を中心に県内34市町村と県が連携して事業を展開する「れんけいこうち広域都市圏」の取組

が開始しました。現在20の連携事業に取り組んでいくこととしていますが、引き続き協議を重ね、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置つけた取組との相乗効果が発揮できる連携事業を追加し、人口減少の大きな波に打ち克つことのできる圏域の形成を目指したいと考えています。

本市での国営ほ場整備事業は、事業への意思確認と整備範囲の確定に向け、地元推進組織、関係機関が連携して仮同意徴集を進めていましたが、平成29年度末までに土地所有者等との合意形成が計画どおり進まず、平成31年度からの着工は難しい状況となりました。現在、仮同意徴集を継続して進めており、その同意状況をもって、整備範囲を決定し、平成32年度の事業着手に向け、地元関係者や関係機関と協力し、詳細な整備・営農計画等を検討し、事業採択に必要な事業計画書案の作成を進めたいと考えています。」と述べた後、主要な課題について報告しました。(内容はあらましです)

津波避難施設「命山」整備

用地取得が完了

市立スポーツセンター周辺津波避難施設「命山」の整備は、土地売買に関する契約を締結し、所有権移転の登記もすべて完了しました。現在、基本計画策定に向けて取組を進めています。

財政状況

収納率や加入率の向上など適切な運営

平成29年度一般会計の形式収支は、7億5千709万2千円の黒字となります。形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を控除すると、実質収支は、5億7千450万8千円の黒字となり、このうち財政調整基金に2億9千万円の決算積立を行い、翌年度繰越金は2億8千450万8千円となります。特別会計への繰出金の増大は、一般会計を圧迫することとなりますので、特別会計においても収納率や加入率の向上、また受益者負担の適正化を図り、適切な運営に努めます。

国民健康保険

南国市データヘルス計画

南国市データヘルス計画は、医療費明細等の分析に基づく国民健康保険加入者の健康保持増進の事業計画です。専門家の意見も反映しながら官民連携で進めるため、南国市データヘルス計画評価策定委員会の設置について、今議会に議案を上程しています。

地域づくり事業

地域集会所等への補助制度を創設

地域所有の集会所等を対象とした、建替え修理等への新たな補助制度を創設し、現在、自治会等への要望調査を行っています。要望調査を取りまとめた後には優先順位を決定し、事業を進めていきます。

高齢者健康増進

貯筋運動教室を実施

昨年度から地域の公民館など4カ所で、「貯筋(ちよきん)運動教室」を実施しています。介護予防のための運動指導と併せて、継続した活動となるようリーダー養成を兼ねた支援を行い、今後、地域においても効果的に健康・体力づくりを実践できる仕組みにしていきます。

中央公民館・大篠公民館改築

基本設計等を予定

本年度は、基本設計、実施設計のほか、地質調査及び用地測量を予定しており、財源として社会資本整備総合交付金が要望額に対して約95パーセントの内示がありました。設計に当たり、幅広くご意見をいただきながら進めていきます。

子育て支援

ファミリーサポートセンター

昨年4月に開設した「なんこくファミリーサポートセンター」の会員登録数が本年3月末で50名となり、援助活動として、保育所や幼稚園への送り迎えや保護者の外出の援助などが行われています。本年度は、会員登録数の目標を100名以上とし、特に援助会員の増加に努めます。また、援助会員になるための保育サービスクラスは、希望者が受講しやすくなるよう周辺自治体と連携し、受講の機会を増やす取組等について協議を進めています。

被災農家支援

補助対象を拡大

昨年に発生した台風に伴う被災農家への支援は、被災農家の自己負担軽減のため、県の園芸用ハウス整備事業の災害復旧区分に対する市の補助率の上乗せ措置を講じています。が、被害の深刻さから、すでに対象としていた台風21号以外に、台風18号及び22号についても補助対象とし、さらに、すでに復旧済みの園芸用ハウスも、対象とする特例措置を講じることとしました。

春のイベントなど

土佐の食1グランプリ

3月31日、4月1日の両日に開催された、「岡豊山さくらまつり」及び「土佐の食1グランプリ」には、2日間で約9千人の来場者がありました。食1グランプリでは、小学生として初出場した十市小学校児童とごめんシヤモ研究会のコラボ商品「十菜(てんさい)シヤモあんバリかた麺」が準優勝に輝き話題となりました。

長宗我部フェス

4月21日、県立坂本龍馬記念館のグランドオープンに合わせて「志国高知 幕末維新博」の第二幕がスタートしました。5月19日には、関連イベントとして「長宗我部フェス」が開催され、土佐長宗我部鉄砲隊による祝砲や、豊後大友宗麟鉄砲隊の鉄砲演舞、また、趣向を凝らしたステージイベント等を多数の来場者が楽しみました。同日夜には「長宗我部の宴」が催され、全国から参加した長宗我部ファンや歴史ファンが交流を深めるとともに、長宗我部フェスを通じた地域活性化について語り合われました。

地域おこし協力隊

ごめん・よってこ広場を拠点に活動

4月1日から、「ごめん・よってこ広場」を拠点に、地域おこし協力隊員を1名配置しました。これにより、ものづくりを通して本市の活性化に向け、情報発信やイベントの実施及び協力、さらには、地域の製造業や教育機関等との連携構築などに努め、引き続き、取組を推進していきます。

都市計画

立地適正化計画

平成29年度に居住誘導区域の計画を盛り込んだ全体版の素案を作成しましたので、今後は、素案の住民説明会及びパブリックコメントを実施したうえで、早期の計画公表に向けて取り組んでいきます。

都市計画マスタープラン

南国市都市計画マスタープランの改訂については、平成29年度に全体構想案を作成しましたので、今後は、策定委員会など関係機関と協議・調整を行い、各地域で開催予定のワークショップや説明会等を通じて、住民の意向を反映させながら改訂素案を作成していきます。

上下水道事業

水道事業会計

平成29年度水道事業会計の経営収支状況は、7千860万9千円の黒字となります。資本的収支は、税込収支で2億8千387万8千円の不足となりましたが、当年度分損益勘定留保資金2億1千769万2千円及び過年度分消費税資本的収支調整額5千798万6千円、減債積立金820万円で補填しました。

下水道事業会計

平成29年度より下水道事業が公営企業会計となりました。平成29年度下水道事業会計の経営収支状況は、1億2千499万9千円の黒字となります。資本的収支は、税込収支で1億4千659万9千円の不足となりましたが、当年度利益剰余金処分額4千634万1千円及び当年度分消費税資本的収支調整額578万1千円、引継金447万8千円、当年度分損益勘定留保資金8千999万9千円で補填しました。

中学校給食

中学校給食試食会を開催

中学校給食については、昨年12月の開始から様々な意見をいただいておりますが、本年度は「中学校給食試食会」を開催し、試食を通して直接意見交換できる場を設けるなど、給食内容の充実に向けて取り組んでいきたいと考えています。